

サロンを主催しているのは、地域住民、民生児童委員、福祉協力員、老人クラブの皆さんなど様々ですが、増加の一番の要因は、なんとといっても住民ボランティアの皆さんの増加によるものです。地域に暮らす多くの皆さんが主体となり、お互いに工夫しながら企画され、地域内呼びかけをして開催してみえます。

老人クラブについては、昨年度から今年度にかけて、5クラブ、253人の会員減少があり、現在16クラブ、977人、加入率は23・4%まで減少しております。老人クラブの会員が減少している要因はいくつか考えられますが、定年後にも継続して働かれる方の増加、ライフスタイルの多様化・個人化、また、役員を務めることや活動に対する負担の増加などが考えられ、この流れは全国的にも止めることができない時代になってきていると思われま

す。ただ、単位老人クラブの中にも、実に活発に運営されているクラブもあり、そうしたクラブでは、アイデアを絞り出し、魅力ある仲間の集団として高めあっています。また、単位老人クラブとしての活動が停止しても、別の形態をとり、何かしらの活動を継続してみえるところも多くあります。

高年齢世代の方々の活動は、様々な形で多様化しており、単

に老人クラブとしての活動のみが、生きがいづくり・健康づくり・社会奉仕の絶対的なものであるという認識は、変えるときにきているのではないかと考えております。

多くの地域の皆様の力で活発になってきたサロン活動ですが、サロン活動は老人クラブが目的とする仲間づくりや、健康・生きがいづくりを図ることを目的としたもので、サロンの参加者の多くは高齢者が中心であり、老人クラブ活動の継続が難しくなった地域では、それに代わるものとして、大きな効果が期待されています。

「ふれあいいきいきサロン」につきましては、社会福祉協議会で助成金の支給や運営の支援を行っており、町におきましても介護予防事業として、活動内容や開催回数等の条件もありますが、「地域介護予防活動事業補助金」を本年度から創設し、サロン活動への支援を始めたところ

です。今後、引き続き老人クラブの活動支援をはじめ、多様化する高齢者の皆さんによる活動への支援、また、こうした活動のリーダー育成を図るなど、社会福祉協議会、地域住民の皆様と連携をとりながら、地域の支え合いづくりを進めてまいりたいと考えております。

老人クラブ、いきいきサロンの今後の考え方は

問 この問題は大変難しいものであり、社会福祉協議会の協力も得なければと思うが、今後の老人クラブやいきいきサロンの考え方について、副町長に伺う。

答 (継続副町長) 老人クラブに対する問題につきましては、議員ご指摘のとおりでございますが、それに変わるものとして、いきいきサロンや地域で様々な活動が行われています。これには、そのサークルや会を導いていくリーダーが多く必要ではないかと思

います。様々なサークルやサロンがありますので、まず内容を広く町民の方に向けていただくことが重要かと思

います。それにより、参加をしてみたい、社会貢献活動をしてみたいと思

黒岩千泰 議員

Q1 杉原千畝「世界の記憶」登録再申請について

登録再申請の考えは

問 4月の議会全員協議会において、町長は再度申請するとの意思表示をされたが、ユネスコの不採択についての検証はして見えるのか伺いたい。

答 (古田タウンプロモーション室長) ユネスコ世界の記憶の申請受付は、現在のところ制度等の改正をするため延期となっております。そのため、具体的な改正内容が明らかになるまで動けないのが現状です。

しかし、再申請の際は、国・県・日本ユネスコ国内委員会などの関係機関と相談しながら、修正点を把握して申請しなければならぬと考えております。議員ご提案の、プロジェクトの立ち上げにつきましては、国

内審査は前回の申請内容で通過しており、申請内容等について大きな変更はないと考えておりますので、基本的には考えておりません。

また、特定のマスコミなどの意見を伺う必要はないと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

Q2 杉原リスト登録への不採択時の対応は

不採択時の対応は

問 世界の記憶登録事業に多額の予算を使ってみえるが、もし失敗した場合、町長としてどのような責任をとられるのか伺いたい。

答 (金子町長) 黒岩議員から昨年の12月議会にも同様の質問がありましたので、答弁いたしました。平成29年12月議会の一般質問の答弁のとおりです。町民皆様の望む声を推進していくことが役目だと思っておりますので、今後も一生懸命努力してまいります。



ております。

国

